

教科	商業	科目	プログラミング	単位数	小学科・学年	教科書
				4単位	IT ビジネス科・2年	プログラミング マクロ言語 (実教出版)
副教材	学習と検定全商情報処理検定テキスト2級プログラミング部門 (実教出版) 全商情報処理検定模擬試験問題集プログラミング2級 (実教出版)					
学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどをおして、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に必要な資質・能力を育成することを目指す。					

評価の規準・観点		
知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
プログラムと情報システムの開発について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、小テスト、単元テスト 実技試験等 授業プリント等 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、小テスト、単元テスト 実技試験等 授業プリント、ノートの見取り等 	<ul style="list-style-type: none"> 予習課題、授業中の取り組み プログラム作品、まとめ、発表 定期考査、テストなどの振り返り
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、課題の提出、確認テスト、実技テスト、定期考査等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学習の内容 (特色を含む)			
月		月	
4	1章 情報システムとプログラミング 1節 情報システムの重要性 2節 プログラム言語の種類と特徴 3節 プログラミングの手順	9	4章 情報システムの開発演習 2節 スタイルシートの活用 3節 PHP の活用 4節 データベースとの連携
5	2章 アルゴリズム 1節 アルゴリズムの表現技法 2節 基本的なアルゴリズム	10	5節 携帯型情報通信機器用ソフトウェアの活用 6節 オブジェクト指向型言語の利用
6	3節 応用的なアルゴリズム 3章 プログラムと情報システムの開発 1節 情報システム開発の手法と手順 2節 プロジェクト管理 3節 プログラムによる企業活動の改善 4節 情報システムの開発 5節 情報システムの評価と改善	11	5章 ハードウェアとソフトウェア 1節 データの表現 2節 ハードウェアの機能と動作 3節 ソフトウェアの体系と役割
	第1期考査	12	4節 情報セキュリティ
		1	総合演習
		2	1年間の学習のまとめ
			第3期考査
7	4章 情報システムの開発演習 1節 Web ページ作成の基礎	3	作品発表

担当者からのメッセージ及び特色
<p>1 授業 プログラムの流れ (アルゴリズム) 及びマクロ言語によるプログラミングをメインに、コンピュータのハードウェア・ソフトウェアに関する知識を学びます。</p> <p>2 家庭では 普段から予習・復習の習慣を身に付けてください。</p> <p>3 補習 検定試験前に実施します。</p> <p>4 特色 アルゴリズムの学習やマクロ言語でのプログラミングにより、論理的に物事を考える能力も身に付きます。</p> <p>5 その他 全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験プログラミング部門2級に挑戦します。(1月下旬)</p>